

守谷ボランティア NEWS

2026年5月号（毎月1日発行）



＜発行＞ 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL：https://moriya-cac.org/
開館時間：午前9時～午後5時（午後8時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

葉っぱの不思議な力 ～桜もち・柏もちをつくらう！～

昔の人は植物をうまく利用しながら暮らしてきました。なぜ食べ物や葉っぱでできるものか？

葉っぱの効用や科学的・文化的意味を学習します。

さらに桜もち・柏もちを実際につくってみることで葉っぱを使う意味を体感してもらいます。

- 日時 6月14日(日)10:30～13:00 講座・調理実習・試食 ●会場 南守谷児童センター
- 講師 高橋真美氏（グリーンアドバイザー）
- 対象 小学生 ●定員 先着16人 ●参加費 200円
- 持ち物 エプロン、三角きん、手洗い用タオル、マスク、筆記用具、飲み物、持ち帰り用タッパー、上履き
- 申込方法 5月24日(日)から 南守谷児童センター（ミ・ナーデ）に窓口または電話で申し込む
※申込開始日は窓口受付のみ、その後は電話受付も可
- 共催・問合せ先 市民活動支援センター・南守谷児童センター（ミ・ナーデ）（☎21-1224）



【SDGsへの取り組み】規格外のお花でアレンジメント！

なぜ規格外のお花が出荷されないのか…その理由や背景を知り、花の新たな価値に気付いてみませんか？それを踏まえてアレンジメントを作ります！

- 日時 6月28日(日) 10:30～12:00
- 会場 市民交流プラザ 市民ギャラリー
- 講師 海老原寛孝氏・映理氏（えびちゃんの花）
- 対象 一般市民
- 定員 先着40人
- 材料費 500円/1人（当日集金）
- 持ち物 ハサミ
- 申込方法 5月17日(日)から QRコードまたは窓口で申し込む
- 主催・申込・問合せ先 市民活動支援センター



【展示会】「花だより」

花の写真を展示しています。小規模の展示会となりますが、皆さんおそいでいらしてください。

- 期間 6月12日(金)～6月23日(火)
9:00～16:00
- 会場 市民活動支援センター フリースペース
- 主催 フォトクラブ四季
- 問合せ先 村田 ☎090-5395-2567



登録団体活動情報 5月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
ほっとカモン もりやっ子食堂(子ども食堂)	文化会館	第3もしくは第4土曜日 10:20～終了次第	大塚 0297-45-6938
わんにゃんM's 動物愛護活動(譲渡会)	守谷市役所	第2日曜日 13:00～15:00	wannyan.emuzu@gmail.com
和太鼓 友 和太鼓の練習、イベント	もりりん北守谷 他	第1・3日曜日 12:00～16:00 他	加藤 090-7171-1274



助成金情報 ＊内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。	
社会教育	～5/22 2026年 浅井スクスク基金 公益財団法人 公益推進協会 https://kosuikyoo.com/
医療・福祉	～5/22 ボランティア活動資金助成事業 公益財団法人みずほ教育福祉財団 https://mizuho-ewf.org/
医療・福祉	～5/29 高齢・地域共生社会助成「地域福祉チャレンジ活動助成」 公益財団法人 日本生命財団 https://nihonseimei-zaidan.or.jp/

近年、ボランティアのあり方は大きく変化しています。従来の「無償で誰かのために尽くす」というイメージよりも、現在は「自分自身の成長や満足にもつながる活動」として捉えられるようになりました。スキルアップや人とのつながりを得ることを目的に参加する人も増えていきます。また、忙しい現代人に合わせ、短時間や単発で参加できる「気軽さ」も特徴の一つです。活動の種類も多様化しています。インターネットを活用したオンラインボランティアや、専門知識を活かすプロボノ、数分～数時間で完結するマイクロボランティアなど、ライフスタイルに応じた関わり方が広がっています。さらに、地域の見守りや子ども支援といった身近な活動も引き続き重要です。これからのボランティアは、「できることを、できる範囲で」関わることが大切です。自分の関心に合った一歩を踏み出すことが、社会とつながるきっかけになるでしょう。



令和7年度常磐線沿線地区市民活動センター等交流会 に参加してきました！

＠パレット柏 2026年2月25日

「常磐線沿線地区市民活動センター交流会」は、平成29年度から毎年開催されている交流の場です。発起人は龍ヶ崎市で、会場は各センターが持ち回りで担当しています。

この交流会は、常磐線沿線の市民活動センター同士が情報交換を行い、それぞれのノウハウを学び合うことで、センター運営の質の向上とスタッフ間の親睦を深めることを目的としています。なお、令和2年度はコロナ禍の影響により、守谷市が幹事となりZoomを活用したオンライン開催となりました。



令和7年度は柏市民交流センターが幹事を務め、以下の7団体が参加しました。

- ・まつど市民活動サポートセンター
- ・流山市民活動推進センター
- ・柏市市民活動サポートコーナー
- ・阿見町町民活動センター
- ・龍ヶ崎市市民活動センター
- ・つくば支援センター
- ・守谷市民活動支援センター

今回のテーマは「イチ押し企画」。各センターが自己紹介の後、それぞれの特徴的な取り組みを発表しました。



また、多くのセンターに共通する課題として「担い手の高齢化」が挙げられ、子どもや現役世代をどのように巻き込むかについて活発な意見交換が行われました。当センターでは、将来の持続可能な地域づくりを見据え、ターゲットを子ども世代に広げ、幼少期から参加できる企画づくりに取り組んでいます。

中でも印象的だったのは、まつど市民活動サポートセンターが実施している「まつど地域活動塾」です。これは、自分の特技や経験を活かして地域で活動するきっかけを見つけるカリキュラムで、特に「働き盛り世代の居場所が少ない」という課題に着目しています。



卒業生はすでに地域での活動を始めており、例えば以下のような取り組みが生まれています。

- カフェの定休日を活用し、障がいの有無に関わらず誰でも立ち寄れる居場所づくり
- 小さな書店にカフェを併設し、読書会や音楽ライブ、上映会などを通じて交流できる場の運営
- 松戸で活動する人々を起点に、人と人とのつながりや地域の価値を再発見するコミュニティづくり

いずれも地域のニーズに応じた多様な活動であり、今後の参考になる取り組みでした。機会があれば視察も検討したいと考えています。

当センターとしても、地域の中で一人ひとりの特技や経験が活かされる活動が広がるよう、引き続き支援していきます。

なお、令和8年度の交流会は守谷市が幹事を担当します。団体やセンターにとって有意義なテーマ設定を行い、さらなる質の向上と伴走支援につなげていきたいと考えています。